ものコレ

熱っぽい時 どこでも使える

こう見えても体温計

福岡医師協同組合

福岡市内の医師でつくる福岡医師協同組合は、携帯用の「こう見えても体温計」の販売を始めた。

特徴は長さ9・1㌢、幅9㍉、厚さ0・25㍉という小ささ。先端部分に液晶の温度パネルがあり、舌の裏側で1分間、脇に挟む時は3分間それぞれ測る。パネルに並んだ50個の緑色の点が、体温に応じて黒に変色する仕組み。計測は0・1度以内の誤差で精度も高い。使用後は水洗いすれば個人用として何度も使える。米国のメーカーが開発し、日本でも厚生労働省の医療機器の認可を受けている。

一般の体温計のように、ガラスや水銀を使用せず、付属のカード（8・8㌢×5・6㌢）に収納すれば名刺入れや財布に入る。カードに組み込んだルーペを通せば拡大して見ることもできる。

価格は525円。「風邪や熱っぽい時に財布から出してどこでも使えます」と同組合の水野隆文次長。問い合わせは同組合092・852・1540。【綿貫洋】

こう見えても体温計
ケイタイ体温計 個人用
温度が見やすいルーペ付き
NexTemp

コンパクトさが特徴の「こう見えても体温計」

財布にも入る薄型の体温計

福岡医師協組が販売

福岡医師協同組合（福岡市）は同市内の病院で、名刺入れや財布に入れて持ち運べる薄型体温計の販売を始めた。誤差は0・1度以内という。

販売を始めたのは「こう見えても体温計」。サイズは長さ9・1センチメートル、幅9ミリメートル、厚さ0・25ミリメートル。先端の液晶部分を口に1分間入れるか、わきの下に3分間挟んで計る。50個ある小型液晶の色が変わり、0・1度単位で体温を表示する仕組みだ。

価格は525円。付属のカードに収納して持ち運ぶ。